

春
夏
秋
冬

28

2012 四季のコンサート だより

2012年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局:〒430-0904浜松市中区中沢町44-11

電話連絡 (053) 473-3579 (原)

e-mail:hamatomo@palette.plala.or.jp
http://www6.plala.or.jp/hamatomo/

心からの感謝をこめて

声楽家 幸田 浩子

春の宵、4月14日、ピアニストの河原忠之さんとともに、「四季のコンサート“春”」に出演させていただきました。クラシック音楽を慈しみ、愛し、大切にしていってらっしゃるスタッフの皆さまや友の会会員の方々、さらに会場にお越しのお客さまの気持ちがホール隅々まで行きわたっている中、その空気に包まれながら、感動しつつも心からリラックスして演奏させていただくことができました。今でも皆さまの温かい笑顔と拍手、会場の空気、そして2人のかわいい花束贈呈係のちびっこ兄妹さんたちの様子を思い出すと、ふわっと心が温かくなります。本当にありがとうございました。

今回のプログラムは、前半をすべて日本歌曲にいたしました。長年大切に歌っております山田耕作作品の中でも「この道」や「からたちの花」のような、“超”がつくほど有名なものから、「ばらの花に心をよせて」や「たたえよ、しらべよ、歌いつれよ」といった演奏される機会は多くないながら、珠玉の作品も選曲いたしました。シンプルなものにも奥深さと気品が備わっていて、歌うたびに新たな発見をし、凜とした気持ちにさせてくれる作品たちです。木下牧子の「風を見たひと」では、河原さんの色彩豊かなピアノの音色が、会場にさーっと優しい風を運んでくださったように感じました。そして大学の同級生である菅野祥子さんのつくった「春なのに」。

この曲は、陸前高田市出身でウィーン在住のメゾ・ソプラノの菅野さんが、2011年3月11日の震災後まもなく、故郷への想いをかたちにした曲です。

《春なのに、春なのに、何かがこぼれてゆくよ。春なのに、春だから、僕は前を向いて行くよ》

会場の皆さまが、彼女の想いに共鳴してくださっていることを感じつつ、歌わせていただきました。

後半はオペラの世界をたっぷりご堪能いただければと、オペラ・アリアを中心に選曲いたしました。オペラの世界を知り尽くしていってらっしゃる河原さんのピアノは、オーケストラの響きの多彩さ、雄大さ、繊細さ、そして舞台上のさまざまな情景を表現していただきます。孤島で囚われの身を嘆くアルミレーナ、初恋に憧れるジュリエット、運命の人に出会ってしまい愛を怖れるヴィオレッタなど、さまざまなヒロインの心情や情景に、お客さまがこのひと時、想いを馳せていただけたとしたら、とても幸せです。

またいつの日か皆さまとお会いできますことを、とても楽しみにしております。

心からの感謝とともに、浜松音楽友の会のますますのご発展をお祈り申し上げます。



「春のコンサート」4月14日

Shoko Kudo

爽やかな光溢れる五月。四季のコンサート一週間前の帰国。高度を下げ始めた飛行機の窓越しに田植えを終えたばかりの水田が広がり、水面に青空を映してきらきらと輝いていました。新緑の森に囲まれた日本の田園風景を眼下に眺めながら、その美しさへの歓びのような、感謝のような、安堵のような、何ともいえない気持ちで胸がいっぱいになりました。

ヨーロッパの文化や風景は刺激と感動と共に日常のものとして私の中に根を降ろして、それは西洋音楽を演奏する自分にとって大切な財産となっています。でも同時に心に浮かぶのは、いつも当たり前そこにあった故郷のなにげない風景や、どんな時も自分を思ってくれている大切な人と過ごす穏やかなひとときです。



「浜松出身の演奏家シリーズ XIX」5月18日

それは自然で、美しく、愛しく、私にとってかけがえのないものということであらためて感じます。

リサイタルの一曲目に弾かせて頂いたのはシューベルトでした。

修士論文の研究テーマにも選んだ私の愛してやまない作曲家です。常に消えることのない

なかった孤独感と、幸せへの憧れを持ち続けたシューベルト。哀しみを包み込むような温かな音楽は、決して華やかではないけれど、素朴で純粹で自然な美しさを湛え、常に心の傍らにいてやさしく語りかけてくれます。しかしそれはとても儚くて、私の心を捉えて放しません。その音楽は私の人生に一番必要で美しく愛しく感じるものと同じ存在です。そこに私が音楽を続けてこられた原点と、誰もが共感しあえる心がある様に思います。作曲家と云うひとりの人間がこの世に残した音楽を、心から心へと伝えていける、そんな音楽家でありたいと思っています。

この度はすばらしい機会をいただき本当にありがとうございました。浜松音楽友の会の益々のご発展をお祈り申し上げます。また故郷浜松にて演奏できることを楽しみにしております。



私は8年前より浜松フロイデ合唱団に所属し、毎年12月にアクト大ホールでベートーヴェンの第九を歌っています。音楽が好き、歌うことが好き！まさに「喰う、寝る、歌う」の世界に生きているといっても過言ではありません。そんな中でももっと歌う技術を体得したいと思い、声楽の先生のもとにレッスンに通うようになり、3年がたちました。その先生が「浜松音楽友の会」をお仲間の皆様と共に立ち上げ、今も尽力されていることを知り、さっそく入会させていただきました。

この間、素晴らしい音楽家との出会いに、どれほど胸の打ち震える思いを味わったことでしょうか…。

声楽を学ぶ立場から、特に昨年7月の声楽家の市原多朗さんの演奏は、舞台挨拶で還暦を迎えたと打ち明けられた時、思わず客席から快哉を叫びました。長き人

生を重ねられたからこそその軟らかい、重厚感溢れる歌声…。

豊かな人生の軌跡が、ひしひしと伝わりました。

そして今年の春の、幸田浩子さんのリサイタル。湧き出づる泉のごとき歌声は、声楽を学ぶ端くれにとって憧れそのものです。まるで会場一帯がオーロラに包まれた様な雰囲気を感じました。

かくて、四季の会コンサートでの沢山の音楽家（芸術家）との出会いは、聴く私たちにとって「心の糧」そのものです。ご尽力くださるスタッフの皆様にも、心より感謝申し上げます。これからもこの会を愛してやまない多くの人々の、明日への希望や生きる力となります様に…。

新鮮で刺激になるコンサート

高校1年 森 和音

私は小学校5年生の時から、四季のコンサートに行っています。今年で6年目になりますが、それぞれのコンサートが本当に素晴らしいので、毎回楽しみにしています。この会に入るまでは、ピアノのコンサートに行くことが多く、歌や管弦楽器、アンサンブルなどのコンサートにはあまり行ったことがなかったので、初めて四季のコンサートに行った時は思っていた以上に楽しく、とても新鮮に感じました。毎年様々な楽器の演奏やアンサンブルがあるので、いろんな音楽にふれられて、本当に楽しいです。出演している方々の演奏もとても素敵で素晴らしく、お話も面白いので、いつも嫌なことを忘れて心から楽しめます。もちろん勉強にもなるし、とても刺激的で、自分もピアノの練習を

頑張ろう！という気持ちになります。

私が今まで聴いた演奏会の中で印象に残っているのは、ゴマラン・プラスのコンサートやアコーディオンのコンサートなどです。とにかく楽しくて面白くて、今でもよく覚えています。聴いたことがないような音楽だったので、とても衝撃的でした。

今後も素敵なコンサートをたくさん企画していただきたいと思いますので、これからも楽しんでいきたいです。まだ勉強中の身ですが、もっともっと頑張っ、いつか私も四季のコンサートに出られるような演奏家になりたいです。そして、お客様に楽しんでもらえる演奏ができるように努力していきたいと思います。

これからのコンサート予定

秋 アレッシオ・バックス ピアノリサイタル 10月19日(金) 6:45PM(開演)

浜松国際、リーズ国際コンクールの覇者としてニューヨークを拠点に活躍する実力派ピアニスト。超絶技巧を駆使した作品を華麗に弾きこなすテクニックと研ぎ澄まされた音楽性で、聴衆を魅了するプログラムをお楽しみください。



プログラム

1部

ラフマニノフ／前奏曲 嬰ハ短調 Op. 3-2
ヴォカリーズ Op. 34-14(アレッシオ・バックス編)
前奏曲 変ト長調 Op. 23-10

ムソルグスキー(ラフマニノフ編)／
ゴバック オペラ「ソローチンツィの定期市」から

ラフマニノフ／前奏曲 ト長調 Op. 32-5
前奏曲 ト短調 Op. 23-5

クライスラー(ラフマニノフ編)／
愛の悲しみ
愛の喜び

2部

ムソルグスキー／組曲「展覧会の絵」

ブロムナード～「小人」～ブロムナード～「古城」
～ブロムナード～「テュイルリーの庭」～「ブイドロ(牛車)」
～ブロムナード～「卵の殻をつけたひなどりの踊り」
～「ザムエル・ゴルデンベルクとシュムイル」～ブロムナード
～「リモージュの市場」～「カタコンブ(ローマ時代の墓)」
～「死せる言葉による死者への呼びかけ」
～「鶏の足の上に建っている小屋(バーバ・ヤーガ)」
～「キエフの大門」

冬 神尾真由子(Vn)&ミロスラフ・クルティシエフ(P) デュオリサイタル 11月30日(金) 6:45PM(開演)

チャイコフスキー国際コンクールヴァイオリン部門で衝撃的な優勝から5年、満を持して初めての浜松公演。同じくチャイコフスキーコンクールで最高位を獲得したピアニスト、ミロスラフ・クルティシエフと二つの才能が響きあう、華麗なる情熱のデュオ。ようやく実現した極上の演奏会をご堪能ください。



写真：Uwe Arens

プログラム

1部

ラヴェル／ヴァイオリン・ソナタ ト長調
レスピーギ／ヴァイオリン・ソナタ 口短調

2部

フランク／ヴァイオリン・ソナタ イ長調

春 小川里美(ソプラノ) & 野原みどり(ピアノ) デュオリサイタル 4月5日(金)

元ミス・ユニバース・ジャパンで、欧米での活躍も目覚ましいソプラノ歌手小川里美と、豊かな音楽性で定評のあるピアニスト 野原みどりのプラチナ・デュオが実現。イタリア歌曲、オペラアリア、ミュージカル、日本歌曲などの幅広いレパートリーの中から、軽妙なトークを交え、楽しいプログラムをお届けします。30周年記念の春を飾るにふさわしい華やかなコンサートをお楽しみください。

夏 バリ管弦楽団プラス・クインテット 5月18日(土)

バリ管弦楽団の首席奏者のみで構成された金管アンサンブル。彼らの奏でるフランス音楽は、管楽器ファンのみならず、全世界の音楽愛好家から絶大な評判を得ています。卓越した技術を持つ演奏家で構成されているバリ管弦楽団、その中でもクリアで色彩豊かな音色を誇る金管楽器セクションによる華麗なアンサンブルをご堪能ください。

秋 ヴィルトゥオーゾ・カルテット 10月27日(日)

日本を代表するヴィオラ奏者である店村眞積の呼びかけでNHK交響楽団の精鋭たちと結成されたスーパーカルテット。バルトークの弦楽四重奏曲全6曲の演奏を目指して2006年から意欲的な活動を続けています。メンバーは齋藤真知亜(ヴァイオリン)、大宮臨太郎(ヴァイオリン)、店村眞積(ヴィオラ)、藤森亮一(チェロ)の4名からなり、高度なテクニックで鮮烈なハーモニーを紡ぎます。

冬 小曾根 真 ピアノリサイタル 12月予定

1983年パークリー音楽大学ジャズ作曲・編曲科を首席で卒業、同年カーネギーホールでソロリサイタル。米CBSよりアルバム「OZONE」で全世界デビュー。クラシックでも、デュトワ、尾高忠明らの著名指揮者とモーツァルト、ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ等の協奏曲を演奏。スタンダードジャズからクラシック、そしてオリジナル曲まで、真の自由を感じながら一期一会の感動を紡ぎ出す小曾根真の世界へどうぞ!

浜松出身の演奏家シリーズ

柳澤利佳 ソプラノリサイタル 7月20日(土)

浜松市立与進中学校、浜松学芸高校芸術科卒業後、東京藝術大学声楽科、同大学院音楽研究科オペラ専攻修了。第44期二期会マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。二期会公演「蝶々夫人」ケイト役でオペラデビュー。「椿姫」「マノン」「ラ・ボエーム」など数々のオペラで好演。国内における数々のコンクールで入賞し、華のある容姿と表現力の豊かな歌唱で、益々注目を浴びる期待のソプラノ歌手。浜松学芸高校芸術科非常勤講師。二期会会員。

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で、テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛お送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417までお申込みください。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。